

あいさつ



高梁市長

秋 岡 毅

新年あけましておめでとうござ
います。皆さま方におかれまして
は、輝かしい希望に満ちた新春を
健やかに迎えのことと心からお
喜び申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、堅
調な景気動向が報じられる一方
で、地域格差の拡大が取りざたさ
れた一年でもありました。

こうした中、本市におきまして
は、都市像とする「交流・創造都
市 たかはし」の実現に向け、効
果的・効率的な市政運営に努め、
生活基盤・都市基盤の充実と交流
の促進を図ってまいりました。

また、行財政改革において徹底
した事務事業の見直しを行う中、
重点施策として子育て支援の拡
充、基幹産業である農業の振興や
地域交流の推進に力を注いでまい
りました。

産・学・官の連携強化や特色あ
るまちづくり活動の支援、定住に
関する情報を集中管理する「定住
促進係」の設置など、交流の促進
と全国に向けた情報発信に努め、
将来にわたる地域活性化を目指し
て、さまざまな取り組みを行って
きたところです。

本年も引き続き、誇るべき地域

の資源や特性を生かしながら交流
機会を増やし、本市の魅力を多く
の皆さまに感じていただくよう
努めてまいります。

現在、社会情勢が急速に変化す
る環境にあつて、地方分権の拡大
とともに「地方の時代」と評され
る中、地方自治体の運営にあたり
ましては、豊かな発想を生かした
地域独自の取り組みに努め、新た
な活力の創造により、地域力を強
化していく必要があります。

本市が将来に向けて大きく飛躍
していくためには、これまで進め
てまいりました諸施策の充実はも
とより、さらなる地域力強化に向
け、社会情勢に的確に対応した新
たな施策にも積極的に取り組んで
いかなければなりません。

「適地適策」「高梁らしさ」を念
頭に、すべての世代が「高梁に暮
らしたい・住み続けたい」と心か
ら思えるような、活力と安らぎの
あるまちづくりを目指して全力を
尽くす所存です。

本市発展のために、ご支援・ご
協力を賜りますようお願い申しあ
げますとともに、皆さま方のご健
勝とご多幸を心からお祈り申し上
げます。

新年のご



高梁市議会議長
長原 寛

新年あけましておめでとうござ
います。市民の皆さまには、ご家
族おそろいで、明るく穏やかな新
春をお迎えのことと心からお喜び
申し上げます。

昨年は、食品偽装や年金記録問
題をはじめとして、さまざまな分
野で事件や不祥事が相次ぎまし
た。また、7月の参議院議員選挙
以来、政局はますます混沌の色を
深めてきております。

大変見極めの難しい世の中にな
ってきていると痛感していること
ろです。

このような中で、今、わが国で
は、「地方のことは地方自らが責任
を持つて決定する」という地方自
治本来の姿を実現するため、構造
改革の一つとして、いわゆる「地
方分権改革」が強力に押し進めら
れています。

しかし、残念ながらその裏付け
となる財源の移譲は必ずしも適切
とはいえず、全国の多くの自治体
が、極めて厳しい行財政改革によ
ってこの難局を乗り越えようとし
ているのが現状です。

本市におきましても、市役所の
組織や財政の構造はもちろん、す
べての事務事業について見直しを

行い、これに対応しているところ
です。

ご承知のように、本市には、病
院改築やケーブルテレビ網の整
備、高齢者福祉、子育て対策、産
業振興、定住促進等々、課題が山
積しており、そのいずれもが、市
民の皆さまの生活に直結する重要
なものばかりです。

しかし、現状では、これらを一
気に解決することは到底望むべく
もなく、厳しい取捨選択が求めら
れます。また、自立した足腰の強
い高梁市を創るためには、旧来の
地域にとらわれない、新しい自治
体としての強い一体感が何より大
切です。それだけに、議会の役割
とあり方は、ますます重要になっ
てまいります。

私も議員一同、一市民として
の原点を忘れることなく、本市の
将来に思いをいたしながら、皆さ
まに、より信頼していただける市
政を目指して、議会活動にまい進
してまいります。皆さまの一層の
ご理解とご支援をお願い申し上げ
る次第です。

今年一年、市民の皆さまが健康
で、明るく幸多い年となりますよ
う心からお祈り申し上げます。